

鳥取県病原微生物検出情報

(令和2年2月検出分;検体採取 令和元年12月～令和2年2月)

令和2年3月13日

鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体2件(検体採取1月下旬、2月上旬)について、検査を行ったところ、すべてインフルエンザA2009型が検出されました。(詳細は表1のとおり)

表1 今シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

年	検体採取時期 月日	検体採取場所	検出数	A型別、B系統別				備考
				A2009型	AH3型	Bvictoria	B山形	
2019	9月6日	西部	1	1	0	0	0	
	9月18日	西部	1	1	0	0	0	
	11月25日	西部	1	1	0	0	0	
	12月2日	中部	1	1	0	0	0	
	12月10日	西部	1	1	0	0	0	
	12月13日	東部	1	1	0	0	0	
	12月13日	西部	1	1	0	0	0	
	12月16日	中部	1	1	0	0	0	
	12月16日	西部	1	1	0	0	0	
2020	12月19日	西部	1	1	0	0	0	
	1月6日	西部	1	1	0	0	0	
	1月10日	中部	1	1	0	0	0	
	1月20日	西部	1	1	0	0	0	
	1月27日	西部	1	1	0	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2019/9/2 - 現在)			15	15	0	0	0	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報(3月6日作成)によると、今シーズンは、A2009型が最も多く報告されています。(図1)

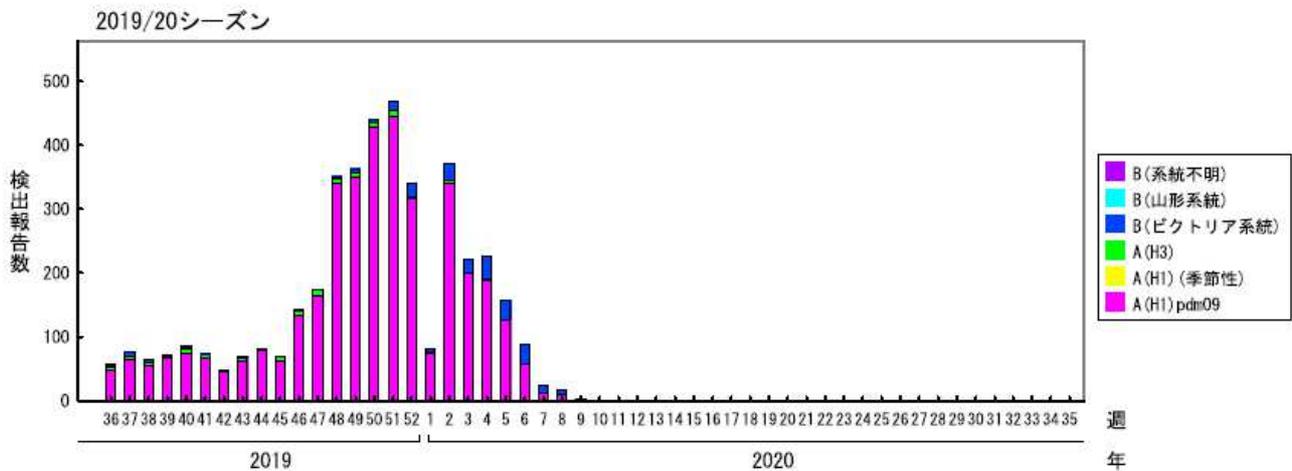


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体 13 件（突発性発疹の併発 1 件を含む）について、検査を行いました。検出されたウイルスは、ノロウイルス 12 件とサポウイルス 1 件でした。（詳細は表 2 のとおり）

表 2 検査状況（感染性胃腸炎）

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A 群ロタウイルス	アデノウイルス 40/41	アストロウイルス	アイチウイルス
200020	1 月下旬	—	—	—	—	—	—
200021	1 月上旬	検出 (G II)	—				
200022	12 月下旬	検出 (G II)	—				
200023	12 月下旬	検出 (G II)	—				
200024	12 月上旬	検出 (G II)	検出				
200027	1 月下旬	検出 (G II)	—				
200028	1 月下旬	検出 (G II)	—				
200029	1 月中旬	検出 (G II)	—				
200030	1 月中旬	検出 (G II)	—				
200031	1 月中旬	検出 (G II)	—				
200032	1 月中旬	検出 (G II)	—				
200033	1 月下旬	検出 (G II)	—				
200034	1 月中旬	検出 (G II)	—				
検出計		12 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件

(—)：未検出

3 突発性発疹

臨床診断名が突発性発疹（感染性胃腸炎を併発）の検体 1 件（検体採取 1 月下旬、検体番号 200033）について、ヘルペスウイルス 6，7 の検査を実施しましたが、検出されませんでした。

4 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体 1 件（検体採取 1 月下旬、検体番号 200033）について検査を実施したところ、アデノウイルス 54 型が検出されました。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報（3 月 6 日作成）によると、全国の流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルスについて、2016 年から 2019 年まで、アデノウイルス 54 型は最も多く報告されています。（図 3）

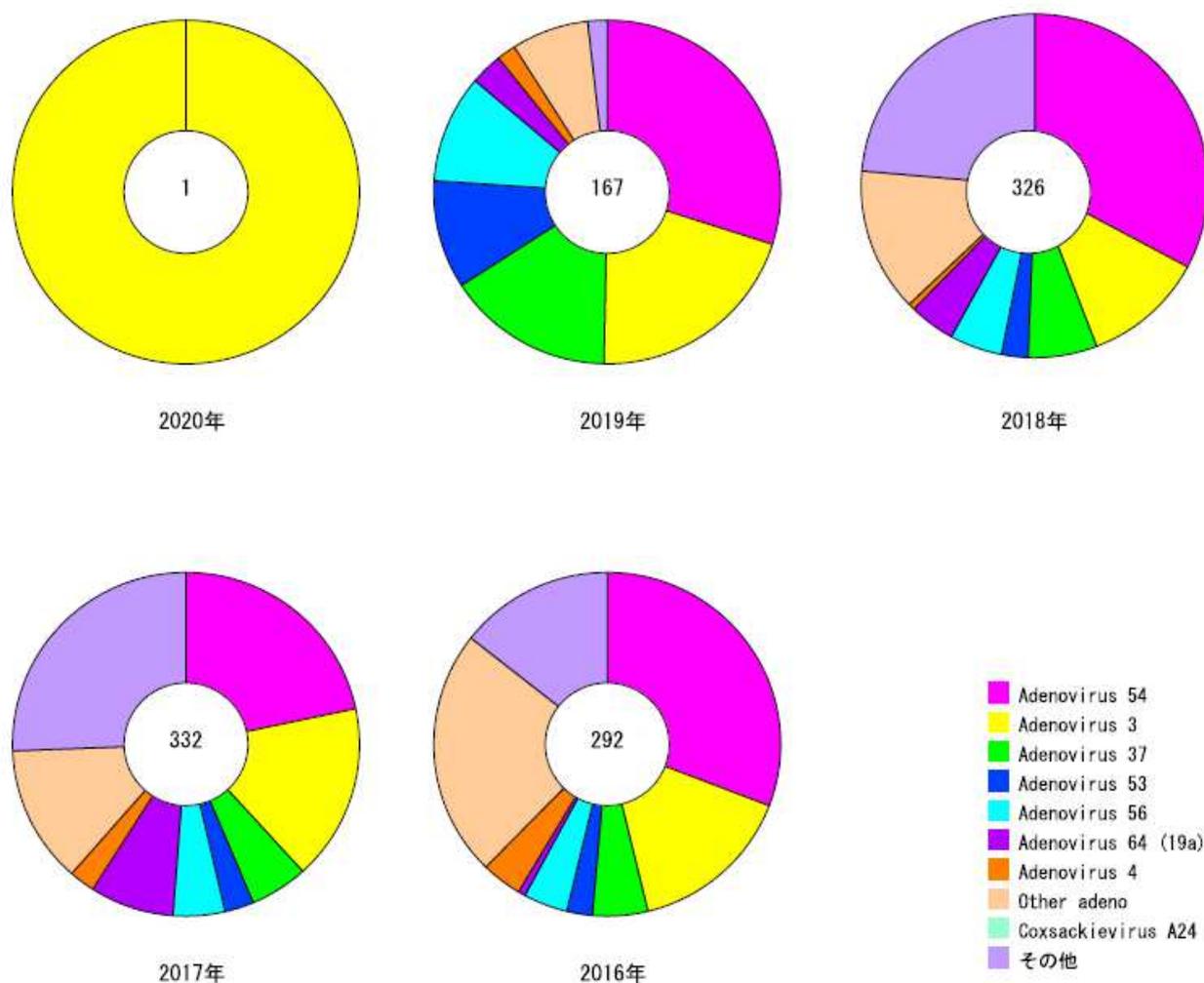


図 3 流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルス（2016 年～2020 年）

*円グラフの中の数字は各年ごとの分離・検出報告の総数（2020 年は 3 月 6 日までに報告された数）

5 RS ウイルス感染症

臨床診断名が RS ウイルス感染症の検体 1 件（検体採取 10 月上旬（検体番号 190192））について、RS ウイルスの検査を実施したところ、RS ウイルス A 亜型が検出されました。